

千葉グル - プ平成16年度基調講演会「千葉県の基盤整備について」

関東支部評議員

畑中宗憲（千葉工業大学）

本年5月の関東支部の発足に伴い、千葉県グル - プも地域に密着した活動について、評議員及び幹事による協議を重ねて、最初のイベントとして、9 / 15に千葉市の「菜の花プラザ」にて、「千葉県の基盤整備について」と題する基調講演会を千葉県県土整備部副技監兼技術情報室長佐久間博機氏を講師に迎えて、盛大に行われました。講演会には 全国地質調査業協会連合会、 関東地質調査業協会千葉県支部、 千葉県地質調査業協会及び（社）日本土木工業協会の各機関の共催と日刊建設新聞の後援を得たことが成功した大きな原動力であると考えております。



佐久間氏による基調講演

講演会には建設業関係者34名、地盤調査業関係者48名など合計93名の参加をいただき、地盤関連技術者の関心の高さを示すと共に、今後の会員増強のきっかけになればと思います。講演会は小宮幹事の司会の元に、筆者による関東支部設立の経緯についての説明のうち、長い間千葉県の河川行政に第1線で活躍されてきた佐久間氏から環境に配慮した河川業務の難しさなどについて、ときには笑いを誘いながら大変興味深い話をいただきました。引き続き開催された懇親会では中村評議員の軽妙な司会のもとに、石原支部長の乾杯の音頭続き、山崎副幹事長から配布した関東支部関連資料の説明、及び瀬古副支部長の挨拶

の後、参加者達が食事とお酒をいただきながら、お互いに親交を暖める歓談が予定を越えて、約2時間続きました。最後は筆者が千葉グループの評議員と幹事を紹介し、併せて、参加者の皆さんに関東支部への一層のご支援とご協力をお願いして、散会した。



参加者達が真剣に講演を聞く



懇親会での石原支部長の乾杯の音頭



懇親会での参加者達の歓談